

## 2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 2月 14日

所属	基盤教育機構	職名	准教授	氏名	渡邊圭
研究課題	個人事業主会計の研究—個人事業主における業績評価指標—				
研究キーワード	個人事業主、業績評価、 会計帳簿、家計簿	当年度計画に対する 達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を 達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連する SDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	8. 働きがいも経済成長も	該当なし	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

本研究は、個人事業主として自らの事業と自らの家庭から成る会計帳簿を作成し、それらの会計情報を統合させた財務諸表から業績の測定を行い、経営管理するための業績評価指標について研究するものである。個人事業主は、自ら営む事業の債務を事業資金から賄えない場合、自らの家庭で所有する財産を抛出して返済しなければならない。このことから、個人事業主は自らの事業と自らの家庭の財産を明確に把握しておくことが求められる。

個人事業主は自身の事業と家庭の両者から経営を行い、事業の運営管理と生計を立てる。事業は利益を追求し、家庭は財産の充足を追求することが経営目標である。その意味で、個人事業主における事業と家庭の経営目標は異なるため、二元的に会計実体を捉えて論理を構築する必要がある。個人事業主における事業の経営目標は利益追求のため、伝統的な期間損益計算が行えるように会計帳簿から財務諸表を作成して、成果としての業績評価概念を明らかにする。一方、個人事業主における家庭の経営目標は、財産の充足を追求することであり、利益額を成果として捉えることは妥当ではない。家庭の成果は、一定時点における財産変動の増加であり、財産を充足させることで家庭の経営をより向上させることができる。

しかし、個人事業主の財産は、当然ながら湯水の如くあるわけではなく、限られた資源で生活を賄わなければならない。また、人間の富を求める行為は無制限のため、収入対支出のバランスを明らかにして、過剰な支出の抑制についても図らなければならない。本研究では、個人事業主の家庭における、財産目録、収支計算書及び財産変動の原因を示す財務諸表を作成し、正確な成果の結果と原因計算の照合と検証が行える会計帳簿組織を検討する。これらの財務諸表を通じて、個人事業主における事業と家庭を統合させた成果としての業績評価概念について明らかにする。

会計帳簿のICT化が進展して、今後すべての会計処理が自動化されたとしても、そのプログラムされた原理は複式簿記であり、帳簿も紙媒体が電子化されただけである。Digital Transformation(以下、DXとする。)に複式簿記により作成した会計帳簿が取り込まれることで、実行可能性がより向上すると期待できる。複式簿記による会計帳簿から作成した財務諸表を用いて、様々な業績評価指標についても容易に入手可能になると見込まれる。

以上のことから、個人事業主における事業と家庭の主体から、それぞれ複式簿記による会計帳簿から財務諸表の作成を行い、それらを統合させた財務諸表を作成することで、個人事業主にとって有用な業績評価指標について探求する。本研究における個人事業主会計から個人事業主にとって経営管理上、最も重要な業績評価指標である損益分岐点分析に相当する分析手法を本研究から明らかとする。

研究過程で業務委託契約による個人事業主の棚卸資産概念の不明確性が明らかとなったため今後の課題として研究を深めていきたい。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【著書・論文（査読なし）】

1. 渡邊圭(2023)「会計リテラシー教育の導入と課題ー学校教育への導入の困難性とそれにより生じる社会的な問題ー」『会計教育研究』(9)、会計教育研究所、20-23 頁。(単著：論文)
2. 渡邊圭(2023)『日商簿記3級ハイパートレーニング』中央経済社。(単著：著書)
3. 千葉商科大学会計研究室(2023)『レクチャー初級簿記第2版』中央経済社。(共著：著書、第14章、第15章、第16章、第22章担当)

【学会発表等】

1. 渡邊圭(2022)「大学における会計教育に関する一考察-会計教育実践の場と高等学校へのICT帳簿の普及-」千葉商科大学国府台学会(2022年7月27日報告)。
2. 渡邊圭(2022)「個人事業主会計に関する一考察」日本簿記学会第38回全国大会大阪産業大学(2022年8月20日報告)。
3. 榊岡源一郎・宮田大輔・谷川喜美江・渡邊圭(2022)「事業者におけるICT導入の実態と行政デジタル化に関する検討」日本計画行政学会第45回全国大会 in 山口KDDI 維新ホール(2022年9月10日報告)。
4. 渡邊圭(2022)「大学における会計教育の必要性和役割」第7回CUC公開講座千葉商科大学丸の内サテライトキャンパス(2022年10月28日報告)。

3. 主な経費

学会に関する年会費、参加費等の諸経費、学会報告するための旅費交通費、会計帳簿に関連するアプリケーションソフト、書類整理等の補助業務について予算執行した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）  
特になし。

(本文は2ページ以内にまとめること)